

## 第4学年 JSLカリキュラム国語科学習指導案

指導者 池田 尚登

### 1 単元名 「お話のショーウィンドウ」で物語をしょうかいしよう 「一つの花」

### 2 対 象 JH児

- 学年：第4学年 ○ 滞日歴：9ヶ月 ○ 出身国：大韓民国 ○ 母語：韓国語
- 日本語の力

昨年10月に来日。初期指導をワールドルームで行った。日本語の学習には非常に熱心で、学んだことを一つ一つきちんと身に付けていった。サバイバル言語や日本語の基本的な文型（ひろこさんの楽しい日本語Ⅰ）は学習済みである。ひらがなやカタカナ、漢字もよく身に付けている。

- ① 聞く・話す力：基本的な日本語を使って、友だちや教師とコミュニケーションがとれるようになった。おしゃべりが大好きで、おもしろかったことや家庭での出来事を、楽しそうに話してくれる。
- ② 読む・書く力：「ひろこさんの楽しい日本語」に書かれている程度の簡単な文章であれば、自力で読むことができるようになってきた。心に残った出来事などは、写真などを手がかりにして、2，3文の簡単な構成の文で書くことができる。
- 教科の知識・スキル
  - ・ 学年相当の漢字は大体読み書きができるようになってきた。
  - ・ リライトされた簡単な物語であれば、楽しみながら読み進めることができる。本単位では、読めない漢字にふりがなをうった教科書と同じ文章で学習を進めることにした。
  - ・ 意味が分からない語句は、日韓辞典を使って意味を調べることができる。
- 本単元で予想される困難さ
  - ・ 「登場人物」や「場面」「気持ち」「あらすじ」など物語の学習で使う用語についての理解が十分できていないため、教師の指示等がよく理解できないであろう。
  - ・ 登場人物の心情や自分の感想を表現するための語彙が少ないため、人物の心情や性格を読み取る学習や自分の感想を表現する学習で困難さを感じるであろう。
  - ・ 戦争に関わる用語については辞書で調べるだけでは理解できないことが予想される。

### 3 単元目標

#### ① 教科の目標

- 登場人物の性格や気持ちの変化について、叙述をもとに想像して読むこと。
- 中心となる語や文をとらえて、あらすじをまとめること。
- 好きな場面や表現について、一人ひとり感じ方の違いがあることに気づくこと。

#### ② 日本語の目標

- 物語の学習で使用される「登場人物」「気持ち」「場面」「表現」「あらすじ」という用語の意味が理解でき、在籍学級の物語の学習に参加できる。
- 登場人物の心情を想像し、それを日本語で表現できる。
- 登場人物の心情を表す語彙を増やす。

### 4 単元目標達成のための手立て

- 在籍学級担任と単元の進め方について打ち合わせる。
- 単元の学習の流れを見通し、学習のゴールがイメージできるように、「お話のショーウィンドウ」を準備する。
- 教科書本文を自力で読み進めることができるように、読み進める方法を明示するとともに、教具を準備する。
  - ・ ふりがな付き教材の準備
  - ・ 日韓辞典の準備
  - ・ 挿絵の準備
- 在籍学級で使用される学習用語や、教師の指示を予想し、毎時間のターゲットセンテンスとして位置づける。

## 5 在籍学級の授業との関係

- ① 取り出し指導の時間 単元の全時間取り出し / 一部取り出し (10時間中5時間)  
 ② 一部取り出しの場合 先行 / 並行 / 後行

## 6 単元計画 (10時間)

- ① 「お話のショーウィンドウ」で物語の紹介をするという単元のめあてをつかむ。…… 1 (在)  
 ② 「一つの花」の全文を読み、初めの感想を書く。…… 1 (在)  
 ③ 辞書を使って言葉の意味調べをする。…… 2 (取)  
 ④ 「一つの花」で「お話のショーウィンドウ」をつくる。…… 3 (取)  
 ・ 人物紹介とあらすじ  
 ・ 好きな場面・好きな表現の紹介  
 ・ わたしが考えた「一つの花」の意味 (本時)  
 ⑤ 好きな本の「お話のショーウィンドウ」を作って、友だちに紹介する。…… 3 (在)

## 7 本時の計画

### (1) 指導目標

#### ① 教科の目標

- 場面の移り変わりに注意しながら、「一つの花」に込められた父親の心情を、叙述を基に想像して読むことができる。

#### ② 日本語の目標

- 場面の様子や場面の移り変わりを表す言葉が分かる。  
 ・ ところが、いよいよ汽車が入ってくるいうときになって  
 ・ プラットホームのはしの方  
 ○ 登場人物の心情を表す言葉が分かり、それを簡単な日本語で表現できる。  
 ・ お母さんが、ゆみ子を一生けんめいにあやしているうちに  
 ・ 「ゆみ。さあ、一つだけあげよう。一つだけのお花、大事にするんだようー。」  
 ・ お父さんは、にっこりらわうと  
 ・ 心情を表す言葉…うれしい、悲しい、さびしいなど  
 ○ 登場人物の心情を想像して、それを簡単な日本語で表現できる。

- ・ ～に○○の気持ちをこめます。

(本時のターゲットセンテンス)

- ・ 幸せになってね、元気でいてねなど

### (2) 準備

- 板書用資料 (さし絵、吹き出し、人物)  
 ○ モデルとなる「お話のショーウィンドウ」

### (3) 本時の展開

| 主な学習活動と内容                                                                                                               | 主なやりとり (A U と日本表現)                                                                    | 支援と評価                                           |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------|
| <b>1 前時学習をふり返り、本時学習のめあてをとらえる。</b><br>(1) 前時までに「お話のショーウィンドウ」のパーツを作ってきたことをふり返る。<br>(2) 本時は「わたしが考えた「一つの花の意味」を書く時間であることをおさえ | T 前の時間に、心に残る場面や言葉のパーツを作りましたね。<br>C はい。<br>T 今日は、何のパーツを作りますか。<br>C 「一つの花の意味」のパーツを作ります。 | ○前時までに作ってきた「お話のショーウィンドウ」を見せながら、本時の学習のめあてをつかませる。 |

る。

一つの花の意味を考えて、お話のショーウィンドウのパーツを作しましょう。

## 2 本時学習の見通しを持つ。

(1) どうやれば一つの花の意味を考えられるのかを考える。

(2) 「～に〇〇の気持ちをこめる」の文型について学習する。

T 「一つの花」の意味を考えるには、どうすればいいですか。

C 分かりません。

T お父さんが一つの花にどんな気持ちをこめたのかを考えればいいのです。

T この絵を見てください。これは誰ですか。

C ひろこさんとお母さんです。

T 何をしていますか。

C ひろこさんがお母さんにプレゼントをあげています。

T どんな気持ちでプレゼントをあげていますか。

C 「ありがとう」という気持ちです。

T そんなときこう言います。「プレゼントにありがとうの気持ちをこめました。」

T このさし絵を、「気持ちをこめました。」を使って言うと、どうなりますか。

C 一つの花に〇〇という気持ちをこめました。

○ひろ子さんがお母さんにプレゼントをする絵を使って、文型指導をする。

○さし絵を使って、「一つの花の意味」とは、一つの花に父親がこめた願いのことであることをとらえさせる。

○吹き出しの中の気持ちが想像できればよいということをとらえさせる。

## 3 本時場面を音読する。

4 本時場面の状況を、さし絵や叙述をもとに想像する。

T 一つの花にこめたお父さんの気持ちが分かる言葉に線を引きましょう。

C サイドラインを引く。

T 教科書のどの言葉から、そう思いましたか。

C 〇〇という言葉から、そう思いました。

○人物カードやさし絵を板書に位置づけながら、場面の状況をとらえさせる。

5 父親が「一つの花」にこめた願いを想像する。

T お父さんは、一つの花にどんな気持ちをこめたと思いますか。

C 元気でいてね。幸せになってね。

T お母さんには、どんな気持ちがありましたか。

C ゆみ子のことをお願いします。

○適切な表現ができないときには、いくつか候補となる表現を提示して選ばせるようにする。

- ・幸せになるんだよ。
- ・元気でいるんだよ。
- ・大きくなるんだよ。など

※自分の知っている言葉を使って何とか表現しようとしているか。

